

カトリック聖イグナチオ教会
フォローアップ講座

あなたは、救われていますか。

イエズス会 平林 冬樹 S.J

今回は、「救い」をテーマに考えましょう。「救い」こそ、イエスの唯一の関心事です。人は例外なく救われることを望んでいます。では問います。あなたにとって救いとは何ですか。私の「願い」、「望み」が叶うことでしょうか。もしそうなら、どのような願いが叶えば救われるのでしょうか。

1. 人の現状: 罪・煩惱

① 不安

- ・生きる意味の喪失→役に立つか立たないか。
- ・自分の高評価が人生の物差し: 自分の高評価に役立つか否かで行動を決める
- ・「奉仕」は、「役立つこと」か?
- ・執着・欲・怒り・愚痴
- ・自分の高評価が人生の物差し: 自分の高評価に役立つか否かで行動を決める。
- ・自分が評価されるか、されないか。いつ高評価が失われるか不安

② 孤独

- ・自分が立っている場所を中心において周囲を見る。
- ・見たものを自分の価値観・体験・好みで価値を決め、それを社会の常識と思う→これが、殻。
- ・自分の殻に執着→欲・怒り・愚痴
- ・他者なしでは生きられないのに、他者と理解し合えない。→孤独

2. 救い

- ・人間は、自分の力では自分を救えない。それができるなら、イエスの十字架は、必要ない。
- ・人を救うために最愛の独り子を送った御父
- ・イエス・キリストの唯一の存在理由は、救い。
- ・イエス・キリストの目的は、罪人を招くこと。
- ・神による救いの条件は、善悪か、聖徳か。
- ・条件を付けられたら落ちてしまう私。だから神は、そのまんまの私を抱き取る。
- ・神による救いの条件は、信じること。

3. 真の父

- ・なぜ御父は、そこまでして、どうしようもない人間を救いたいのか。
- ・それは、神は真の意味での父だから
- ・親であること、親になること。
- ・悲のないところに...
- ・人生は父へ向かう旅。帰る場所・居場所があるから「旅」。なければ「放浪」
- ・父の喚び声が先、人は、それに応える。
- ・信仰とは、父の願いと誓いに応える道。人間が、神に願う道ではない。

まとめ:

- ・罪とは、日本の伝統で言う「煩惱」、つまり神以外にこだわるころ。「執着」。
- ・人の救いとは、「ひとりぼっちではない」こと。